

日本図書館情報学会会報

No. 187

2022年2月

日本図書館情報学会事務局
〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京 2-1-1
相模女子大学 金井喜一郎研究室内
(事務局業務に関する問合せ先)
(株)ガリレオ 学会業務情報化センター内 日本図書館情報学会
E-mail : office@jslis.jp 学会ウェブページ : <http://www.jslis.jp/>
ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会
ゆうちょ銀行019店 口座番号=当座0045759 口座名義=日本図書館情報学会

2022年度春季研究集会の研究発表申込について

会員各位

会長 岸田和明

2022年度の春季研究集会を下記の要領で開催します。研究発表申込の受付を開始しますので、〈発表募集要領〉および〈研究大会・春季研究集会における発表のルールについて〉をよくお読みのうえ、ふるってご応募ください。また、2019年度から学生会員を対象に発表を行うための交通費等を一部補助する事業を開始しました。該当される会員におかれましては申請ください。最後に、春季研究集会の円滑な運営のため、募集要領、発表ルールの遵守を重ねてお願いいたします。

春季研究集会関係の情報は、学会のホームページでも随時、提供します。

会員多数のご参加をお待ちしております。

記

主催：日本図書館情報学会

日時：2022年6月4日(土) 10:00~18:00(予定)

会場：鶴見大学 5号館

〒230-8501 神奈川県横浜市鶴見区鶴見 2-1-3

https://www.tsurumi-u.ac.jp/what_is_tsurumi/feature/univ/campus/

アクセス：

・JR「鶴見駅」西口より徒歩約5分、京急「鶴見駅」より徒歩約7分

宿泊：会場校での斡旋は行いませんので、各自でご手配ください。

参加費：正会員・学生会員 無料，非会員 3,000円(予定)

<発表募集要領>

- (1) **応募資格**：日本図書館情報学会の正会員および学生会員（共同発表の場合、筆頭発表者が正会員または学生会員であること）

重要

研究発表の申込は、申込時点で正会員・学生会員である者に限ります。入会が承認されていない場合は、研究発表の申込はできません。未入会の方は、2022年3月20日までに入会申込を行い、4月1日時点で会員資格を得ておく必要があります。入会の承認通知が届いた後に、発表の申込をしてください。

- (2) **発表時間**：1件30分（発表時間20分、質疑応答10分）
- (3) **発表言語**：日本語もしくは英語であること。どちらの言語の場合も、申込、発表論文、発表、記録まで同一言語とすることを条件とします。英語での発表も受け付けますが、多くの聴衆が日本語での発表を期待している現状に鑑み、基本的には日本語での発表が望ましいと考えます。
- (4) **申込方法**：学会ウェブサイトから発表申込申請フォームにアクセスの上、お申し込みください。なお、受理された発表申込はウェブサイトで公開する予定です。あらかじめご承知おきください。
- (5) **申込締切**：2022年4月4日（月）24時必着
申し込み直後に申込みを受け付けた旨のメールを差し上げます（受理の連絡はまた別途行います）。申し込んだにもかかわらずメールがない場合、トラブルの可能性がありますので、研究委員会（kenkyu@jslis.jp）までにご連絡ください。
- (6) **発表論文の提出**：発表することが決まった場合には、A4判で4枚の発表論文を作成し、2022年5月4日（水）までに原稿を研究委員会ウェブサイトを送っていただきます。なお、発表論文提出の締切日は前後することがありますのでご了解ください。発表論文の作成方法などに関しては、発表申込受理者にご連絡いたします。
- (7) **発表のための機材**：パソコンによるディスプレイ（PowerPoint）装置が使用可能です。その他の機材をご要望の場合には、研究委員会（kenkyu@jslis.jp）までお問い合わせください。
- (8) **優秀発表奨励賞**
対象者は第一発表者として口頭発表を行った若手研究者（目安として研究歴10年以内）とします。授与のための審査を希望する者は、自己申告（発表申込申請フォームの「優秀発表奨励賞審査希望」にチェック）してください。発表内容、発表技法の観点から、優秀発表奨励賞選考委員会で審査を行った結果、優れた口頭発表を行い、将来の活躍が期待される若手研究者（正会員、学生会員）に授与します。受賞者は、学会ウェブサイト並びに学会誌に掲載される研究大会・春季研究集会概要において公表されます。
- (9) **交通費等一部補助(2019年度から開始)**

以下の要領で発表を行うための費用補助を行います。希望される方は申請してください。

- ① 対象者：第一発表者として研究発表（口頭、ポスター）を行う学生会員
- ② 人数：希望者全員
- ③ 申請基準

自宅または通学する大学の最寄駅のうち研究集会開催校の最寄駅に近い方を起点として、研究集会開催校の最寄駅まで片道300km以上であること。

- ④ 申請方法

学会発表申請システムの「研究集会参加のための交通費一部補助希望」欄にチェックを入れ、自宅または通学する学校の最寄駅のうち、研究集会開催校の最寄駅に近い方を申告する。

⑤ 補助額：一律 15,000 円

⑥ 支給時期と方法

研究集会で研究発表を確認後、1 週間以内に事務局から振り込む。なお、支給した者に振込確認後、受領書の提出を求める。

⑦ 補助に際してのルール

- 1) 申請は単年度あたり 1 人 1 回に限る。
- 2) 研究発表を取りやめた場合は支給しない。
- 3) 本制度で賄えない残りの交通費等を補うために、併せて他機関から補助を受けることを認める。

< 研究大会・春季研究集会における発表のルールについて >

研究大会および春季研究集会は次のようなルールの下に統一的に運用されています。発表希望者はルールをご確認のうえ、発表申込をしてください。

- (1) 個人会員（正会員・学生会員）は研究大会および春季研究集会において同様に発表の権利をもつ。
- (2) 研究発表は他で公表していないオリジナルなものに限るものとする。
- (3) 個人会員が一度の研究大会あるいは春季研究集会において個人発表および共同発表の筆頭発表者となることは、合わせて 1 回を原則とする。
- (4) 共同研究の第一発表者は個人会員でなければならない。
- (5) 発表論文の原稿は、発表内容を論文の形式で記述するものとする。
- (6) 発表者は発表申込申請フォームから発表論文をアップロードする際、本学会が教育・研究の目的で発表論文を印刷物およびウェブ等の電子メディアで使用することを許諾するものとする。
- (7) 指定の期日までに発表論文を提出しなかった者は、発表を取り下げたものとみなす。
- (8) 発表申請受理後のプログラム(発表タイトル、発表者、発表内容、発表スケジュール)の変更は原則として認めない。
- (9) 発表申込、発表論文作成、発表、発表後の抄録提出は同一言語で行うこととする。その際の言語は、日本語もしくは英語で行うものとする。
- (10) 発表当日の資料配布は、原則認めない。何らかの理由で資料配布を希望する場合は、発表当日の 1 週間前までに研究委員会宛に、資料に配布の理由を添えて申請し、許諾を得る。資料配布が認められた場合は、印刷、配布および回収は発表者自身で責任をもって行う。

< 発表者への諸注意 >

- (1) 発表会場へは遅くとも、セッションの始まる 10 分前には到着するようにしてください。
- (2) 会場の備え付けの発表用 PC に発表用ファイルをコピーしてください。また、セッションを円滑に進行するため、発表者は会場前方に着席してください。
- (3) 本学会発表では、原則として会場に備え付けの PC での発表としています。持ち込み PC の利用が必要となる場合は、発表申込申請フォームの備考欄に< PC のつなぎかえの希望 >について、必ず明記して下さい。事前申請を行わなかった場合、他の発表者の不利益になる可能性があるため、持ち込み PC のつなぎかえはできません。

※ 発表論文集は正会員および学生会員には無償で頒布します。希望者は研究集会終了後 6 か月以内に

レターパックライト（370円）を会場校担当者（文学部 角田裕之）宛てに郵送してください。到着次第、順次返送します。非会員の方は下記連絡先にご一報下さい。研究集会終了後に振込先の連絡を差し上げますので、2週間以内に参加費 3,000円と郵送料（レターパックライト 370円）との合計額を指定の口座にお振り込みください。入金が確認され次第、論文集を送付します。

連絡先：研究委員会（kenkyu@jslis.jp）

件名は「春季研究集会発表論文集頒布希望」としてください。

臨時シンポジウム

「日本における大学図書館のグランドデザイン」の開催（オンライン）

会長 岸田 和明

年度当初は「図書館情報学教育に資する事業」の一環としてシンポジウムを開催する予定でしたが、2021年夏に一般社団法人日本私立大学連盟が公開した「ポストコロナ時代の大学のあり方～デジタルを活用した新しい学びの実現～」を起点とした種々の議論を整理するために、急遽、内容を差し替えた臨時のシンポジウムをオンラインにて開催することとなりました。

開催の趣旨および申し込み方法については学会 HP をご参照ください。申込締め切りは2022年2月23日（水）です。

タイトル：日本における大学図書館のグランドデザイン

日時：2022年3月5日（土）14:00～16:00（終了時刻は予定）、Zoomでの開催

パネリスト（五十音順）：小山憲司氏（中央大学）、竹内比呂也氏（千葉大学）、
野末俊比古氏（青山学院大学）

コーディネーター：岸田和明氏（慶應義塾大学）

司会：三浦太郎氏（明治大学）

以上

オンライン・チュートリアルセミナーの開催

学会員のスキルや知識を更新するためのいわゆる「チュートリアル」は様々な学会で試みられていますが、そのための特別な時間や場所の確保が難しく、当学会ではこれまで開催されてきませんでした。その中でコロナ禍によってウェブ会議システムが我々の日常的なツールとなり、常任理事会にて、これを活用できるのではないかという議論になりました。そこで、2021年度はまずは「お試し」として、3月に以下のオンライン・チュートリアルセミナーを試行します。関心があれば、学会 HP を参照してお申し込みください。申し込み締め切りは3月12日（土）です。学会員（正会員・学生会員）のみ参加

可能で、無料です。

タイトル：Google フォームでのアンケートに対する Python による集計入門

日時：2022 年 3 月 19 日（土）14:00 開始で、1 時間程度（Zoom での開催）

講師：岸田和明氏（慶應義塾大学文学部）

内容：Google フォームからダウンロードしたファイルに対する Python での集計をデモによって紹介する。ソースコードは提供するが、実習形式とはしない（参加者は視聴・質疑のみ）。また Google フォームでのアンケートの作り方や Excel での集計は含まない。

2022 年度研究助成の公募

研究委員会

本学会では、図書館情報学振興のために、会員が自発的に計画した研究調査の遂行ならびにその結果の取りまとめに要する経費の一部を助成する事業を実施しています。

特に、研究歴が浅い研究者、外部資金を得にくい条件にある研究者を優先的に支援します。また、これから研究が本格化する萌芽的研究も本助成の対象とします。

なお、これまでも個人に加えてグループによる研究も応募できましたが、2022 年度は時限的にグループ研究を対象とした研究助成枠を設定しました。グループ研究の詳細は下記 5. をご参照ください。5. に記されていない事項は他の項目に記された内容と同様です。ご不明な点は、応募期限内に研究委員会 (kenkyu@jslis.jp) までお尋ねください。ふるってご応募ください。

記

1. 助成額

30 万円を 1 件の申請額の上限とし、一定の選考条件を満たした研究、2 件程度に交付。なお審査の結果、申請額が減額されることがある。

2. 応募条件

- (1) 本学会の個人会員が個人もしくはグループで行う研究であること。ただし、グループ研究の場合、研究代表者が個人会員であれば、研究分担者が会員である必要はない。
- (2) 応募者が申込時点で正会員・学生会員である者に限る。未入会者は、応募申込締切前の入会申込締切日となる 4 月 20 日までに入会申込を行い、入会の承認通知が届いた後に、応募すること。
- (3) 2023 年 3 月 31 日までに研究を終了させること。
- (4) 2023 年 3 月 31 日までに所定の書式によって「研究成果報告書」「会計報告書」および領収書のデジタルコピーを提出すること。
- (5) 以下のいずれかの要件を満たすこと。
 - a. 応募者は、研究終了後 2 年以内（2025 年 3 月 31 日まで）に『日本図書館情報学会誌』に応募者が単著あるいは筆頭著者となる原著論文、研究ノート、展望論文のいずれかを投稿すること。

- b. 応募者は、研究終了の翌年度（2023年度）内に代表者として科研費に応募し、その申請書を提出すること。
 - c. 応募者は、研究終了後3年以内（2026年3月31日まで）に博士論文を提出すること。
- (6) 本研究助成を受けたことがある者は、以前の助成の要件が満たされている場合のみ、本年度の申請が認められる。

3. 選考および選考後の報告義務

- ・「研究費助成申込書」に基づいて研究委員会が選考する。結果は応募者に直接通知するとともに、会報に助成者名と研究題目を掲載する。
- ・助成者は研究終了後1ヶ月以内に、デジタル化した報告書と領収書を研究委員会に提出すること。
- ・助成者は2.応募条件に示された要件を満たした時点で、すみやかに研究委員会に報告すること。もし要件を満たせない事情が生じた場合、各応募条件の要件となる締切期日の1ヶ月前までに研究委員会に連絡すること。その際は、然るべき措置を講じる。

4. 応募方法

学会ウェブサイトから研究助成公募申請フォーム（2022年4月上旬に掲載予定）にアクセスの上、お申し込みください。申請に必要な応募項目は以下の10項目を予定しています。

(1) 提出日

(2) 研究代表者の情報

氏名

ふりがな

所属

会員種別

E-mail

(3) 研究分担者の情報

氏名

ふりがな

所属

役割分担

※グループ研究の場合のみ、研究代表者以外の研究分担者全員を記入してください。役割分担は、研究の実施計画に対する分担事項等を具体的に記入してください。

(4) 研究題目

(5) 申請金額（円）

内訳（円）

資料購入費・機器購入費・印刷複写費・旅費・消耗品費・謝金・その他の各金額を示してください。研究計画と経費の整合性を明らかにしてください。

(6) 研究の目的（700字程度）

この研究助成を希望することによって、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。

(7) 研究の意義（500字程度）

この研究の学術的な特色・独創性および期待される成果等について、具体的に記入してください。

(8) 研究の実施計画 (800 字程度)

研究目的を達成するための計画・方法について、①これまでの準備状況、②本研究助成金との関連性、の二点を含めて具体的に記入してください。研究目的との整合性を明らかにしてください。

(9) 研究成果の発表時期と方法 (200 字程度)

個人研究の応募者は、2. 応募条件(5)のいずれを予定しているか具体的に記入してください。

(10) 特記事項 (200 字程度)

例えば「大学院生であるため科研費の応募資格がない」等、この助成が必要な特別の事情などがあれば、記入してください。

5. グループ研究 (2022 年度のみ)

2022 年度に限り、グループ研究を対象とした公募を次のとおり実施します。ここに記されていない内容は、他の項目と共通となりますので、併せて参照してください。

(1) 助成額

90 万円を 1 件の申請額の上限とし、一定の選考条件を満たした研究、2 件程度に交付。なお審査の結果、申請額が減額されることがある。

(2) 応募条件

a. 応募者は、グループ研究の研究代表者ならびに共同研究者として、同時に個人研究にも応募できる。ただし、個人研究と同じテーマでは応募できない。

b. 2023 年 3 月 31 日までに研究を終了させること (なお、申し出により最長 2024 年 3 月 31 日まで延長を認める。

c. 以下の要件を満たすこと。

・ 応募者は、研究終了後 2 年以内に『日本図書館情報学会誌』に応募者が単著あるいは筆頭著者となる原著論文、研究ノート、展望論文のいずれかを投稿すること。

6. 応募締切

2022 年 5 月 6 日(金) 24 時必着

188 号からの会報電子化について

会報 No. 185 でお知らせした通り、本年度は日本図書館情報学会の会報について、学会役員の負担軽減や、印刷体の発行に伴うタイムラグの解消を目的として、印刷体の発行を取りやめ、PDF での電子体による発行を検討して参りました。

その後、会員情報管理システム<SOLTI>での会報配信が大きな負担なく可能であることが確認できたことから、2022 年 4 月の発行の会報より、印刷体の発行を取りやめることといたしました。

今後、会報の発行は会員登録時に申請して頂いたご希望のメールアドレスへ PDF ファイルの添付で送付いたします。また、発行と同時に会員情報システム<SOLTI>への掲載を行い、電子メールが受け取れなかった場合にも閲覧できるようにいたします。さらに、会員異動の情報を削除したウェブ公開のバージョンを作成し、学会ウェブページへ掲載する取り組みも引き続き行い、必要な情報が適宜確認で

きる状況を維持するように致します。

本号ならびに前号 186 号については、会員情報システム<SOLTI>にログイン直後のマイページからご確認頂けますので、是非一度ご確認ください。

<https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/JSLIS>

ただし電子メールによる受領が難しい会員のために、希望者については電子体から印刷体をコピーで作成し、郵送する取り組みを実施いたします。

郵送を希望される方は以下の宛先に郵送もしくは電子メールで以下の 2 点をご連絡ください。郵送については電子体の完成から 1 週間程度で到着するように手配いたします。申し出があった直近発行の号から、年度内発行の最後の会報までを郵送いたします。年度を超えて郵送希望をされる場合には再度申し出をお願いいたします。

1. 会員氏名
2. 郵送先郵便番号および住所

会員の皆様には、会報が確実に受け取れるよう正確な電子メールアドレスの登録をお願い申し上げます。またご不明な点がありましたら、以下のメールアドレスもしくは宛先までご連絡ください。

〒182-8525 東京都調布市緑ヶ丘 1-25
白百合女子大学今井福司研究室内 日本図書館情報学会総務委員会
somu@jslis.jp
(総務委員会)

役員会等の記録

2021 年度第 3 回常任理事会 (開催記録)

日時：2021 年 9 月 12 日(日)13:00～15:15

場所：Zoom によるオンライン会議

出席者 (敬称略)：岸田，三浦，青柳，安形，浅石，今井 (記録)，金井

欠席者：小泉

1. 各委員会に関する報告・協議
2. 学会賞・論文賞・奨励賞の選考・授与
3. 学会活動に貢献があった者への感謝状の贈呈
4. 2021 年度会員集会 (オンライン) の次第整理
5. 2021 年度第 2 回理事会の議題整
6. その他

2021 年度第 4 回常任理事会 (開催記録)

日時：2021 年 11 月 21 日(日)13:00～15:15

場所：Zoom によるオンライン会議

出席者（敬称略）：岸田，三浦，青柳，安形，浅石，今井（記録），金井

欠席者：小泉

1. 各委員会に関する報告・協議
2. 予算執行状況
3. 懇談事項

2021年度第5回常任理事会（開催記録）

日時：2022年1月8日（土）11:00～13:00

場所：慶應義塾大学三田キャンパス

出席者（敬称略）：岸田，三浦，青柳，安形，浅石，今井（記録），金井

欠席者：小泉

1. 2021年度事業の総括（委員会等に関する報告・協議）
2. 2022年度に向けての検討
3. 懇談事項

2021年度第2回理事会（議事抄録）

日時：2021年9月26日（日）13:00～15:15

場所：Zoomによるオンライン会議

出席者（敬称略）：岸田，三浦，浅石，安形輝，青柳，今井（記録），金井，安形麻理，池内淳，池内有為，池谷，岩崎，影浦，河村，須賀，瀬戸口，福井，松林，松本，宮田

欠席者：河西，小泉，常世田

列席者：田村，山本（監事）

会に先立って理事会の成立が確認された。

1. 2021年度定例（通信）総会の議案投票結果報告

2021年度定例（通信）総会の成立ならびに議案成立が確認された。

2. 学会賞・論文賞・奨励賞の選考・授与

学会賞，論文賞，奨励賞の選考過程について報告が行われた。その結果，学会賞2件，論文賞該当なし，奨励賞1件とする提案が行われ，全て承認された。

3. 学会活動へ貢献があった者への感謝状の贈呈

対象者がいないことが提案され，確認された。

4. 2021年度事業の計画報告

資料に基づき，各委員会から今年度の活動が報告された。

- 青柳研究委員長から，研究大会の開催及び発表申込数，参加申し込み状況，研究大会のオンライン開催ならびにオンライン参加可能な体制であること，研究大会シンポジウムのテーマならびに趣旨について説明が行われた。報告の後，研究大会会場校での新型コロナウイルス感染症対応についての質疑応答が行われた。
- 浅石編集委員長から，学会誌の刊行状況やスケジュール，67巻3号と4号を合併号にした経緯について報告が行われた。
- 今井総務委員長から，学会ウェブサイトの管理運営，メールマガジンの配信，定例（通信）総会の

状況ならびに、会報の完全電子化について本年度の総務委員会で手法の検討を行う旨が報告された。

- 三浦副会長より、資料に基づいて、図書館情報学教育に資する事業について、年度末に日本図書館協会図書館情報学教育部会と共催で、年度末にシンポジウムを開催する予定であること、テーマを大学図書館員の専門性とする事について部会側に打診していることが報告された。
- 三浦副会長より、資料に基づいて、『図書館情報学事典』の編集状況、倫理規程案について、説明が行われた。
- 金井事務局長より、資料に基づいて会勢報告および新型コロナウイルス流行に伴う会費減免措置の状況について報告が行われた。
- 金井事務局長より、事務局の負担軽減策のガリレオの委託、会費を1年間滞納した会員に機関誌の配付を停止する内規の改正について、提案が行われ承認された。
- 岸田会長より、学会研究大会へのトラベルサポートの実施状況、日本私大連盟からの提言への対応状況について報告された。

5. 2020 年度会員集会の次第

資料に基づいて会員集会の次第が確認された。

注記：小泉氏の会議欠席については、2021 年度第 1 回理事会にてあらかじめ報告しており、2022 年度に向けて、選挙管理委員長と協議中です（会長）。

委員会・事務局より

『日本図書館情報学会誌』投稿募集

『日本図書館情報学会誌』の投稿先は以下のとおりです。投稿は随時、受け付けています。投稿に際しては「投稿規程」、「執筆要綱」、「『日本図書館情報学会誌』掲載原稿および審査に関するルール」をご参照ください。また、編集委員会では査読者向けのガイドラインとなる「日本図書館情報学会査読綱領」を作成しました。これらについては、学会ウェブサイトでご確認ください。

(編集委員会)

- ・ 投稿先：日本図書館情報学会編集委員会 (journal@jslis.jp)
- ・ 『日本図書館情報学会誌』投稿規程 2021 年 4 月 1 日改訂
<https://jslis.jp/wp-content/uploads/2021/01/tokokitei20210401.pdf>
- ・ 『日本図書館情報学会誌』執筆要綱 2016 年 10 月 8 日改訂
http://jslis.jp/wp-content/uploads/2018/01/w_out_161008.pdf
- ・ 『日本図書館情報学会誌』掲載原稿および審査に関するルール 2021 年 4 月 1 日改訂
<https://jslis.jp/wp-content/uploads/2021/01/rule20210401.pdf>
- ・ 日本図書館情報学会査読綱領 2021 年 4 月 1 日改訂
<https://jslis.jp/wp-content/uploads/2021/03/sadoku20210401.pdf>

視覚障害者への学会誌 PDF 版の提供について

視覚障害者の会員の方に『日本図書館情報学会誌』の PDF 版データを提供いたします。ご希望の方

は、事務局 (office@jslis.jp) までメールでご連絡ください。お心当たりの方は、対象となる会員の方にお声かけいただければ幸いです。事務局より、障碍の程度をお伺いした上で、提供いたします。

(編集委員会)

J-STAGE 上での『図書館学会年報』の閲覧について

『図書館学会年報』の 32 巻以降に掲載された論文がオープンアクセスで利用可能になりました。研究等にご活用ください。また今後、さらに遡ってのオープンアクセス化を検討しています。

(編集委員会)

J-STAGE 上での『日本図書館情報学会誌』の閲覧方法について

発行後 1 年以内の『日本図書館情報学会誌』に掲載された論文を J-STAGE 上で閲覧するには、J-STAGE のウェブサイトにてサインインする必要があります。サインインにあたっては、購読者番号とパスワードの入力が求められます。購読者番号は学会の会員番号 (4 桁の数字) で、パスワードは入会当初のパスワードになります。会員番号や入会当初のパスワードが不明の場合には、事務局 (office@jslis.jp) までお問い合わせください。

(事務局)

メールマガジンについて

総務委員会ではメールマガジンを随時、発行しています。掲載・講読希望の方は、総務委員会まで電子メール (somu@jslis.jp) にてご連絡ください。なお、掲載を希望する方は、PDF の添付ではなくメール本文に掲載内容を記してお送りください。

(総務委員会)

2021 年度の会費納入について

2021 年度の会費払込用紙は 6 月号の学会誌に封入されておりますので、そちらを利用して支払をお願いいたします。

未納会費の納入について

2020 年度の会費を未納の方はすみやかに納入してください。2019 年度までの会費を未納の場合は、2020 年度と合わせてできるだけ早く納入してください。なお、会費を 3 年滞納した会員 (学生会員は 2 年) については、その年度末 (3 月 31 日) に会員資格停止の手続きを行います。次年度から会員としての権利を失いますのでご注意ください。また、会費を 1 年滞納 (当該年度末を超えて滞納) した場合は、機関誌の配付を一時停止します。

そのほか、学生会員で 2021 年 4 月以降に所属が変わり正会員へ変更となる方については、判明後、すみやかに会員種別の変更手続きを行なってください。会費の金額が 2,000 円から 8,000 円に変わります。適正な会費をお支払いいただきますようお願いいたします。

【振り込み先】

ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会

ゆうちょ銀行 019 店 口座番号=当座 0045759 口座名義=日本図書館情報学会

なお会費は、下記のサイトへログイン後、クレジットカードによる支払い (もしくは決済) が可能です。

<https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/settlement/JSLIS>

ログイン後、「オンライン決済へ進む」を押していただき、クレジットカード情報をご入力いただき、「オンライン決済の実行」をクリックすると決済が完了します。どうぞご活用下さい。

(事務局)

会員情報変更・退会および会員情報管理について

住所、電話番号、所属先、メールアドレス等の変更については、学会ウェブサイトに掲載されているガリレオの会員情報管理システム (SOLTI) から直接変更していただくか、「会員情報変更」のページに掲載されている「会員情報変更申請書」にご記入いただき、事務局 (office@jslis.jp) までメールでお送りください。

また会員種別の変更については、(1) 正会員から学生会員への変更の場合、当該年度の4月20日までに事務局に申請する必要があります。それ以降に申請しても、その年度は変更されません。(2) 学生会員から正会員への変更の場合、随時、事務局で申請を受け付けます。ただし、受付の時期によっては、正会員の権利の行使が制限されることがありますので、ご注意ください。また、受付後に年会費の差額を申し受けます。

なお、退会については特に書式はありませんので、電子メールにて、退会理由を併記のうえ、事務局 (office@jslis.jp) までご連絡ください。毎年3月20日までに申し出がない場合、翌年度末での退会となり、1年分の会費請求が発生しますのでご注意ください。

(事務局)

学会受領資料

紙幅の都合により、図書のみ記載しております。(編著者名の五十音順)

- ・ 青柳 英治 編著『市民とつくる図書館：参加と協働の視点から』勉誠出版，2021
- ・ 飯尾 淳 著『オンライン化する大学：コロナ禍での教育実践と考察』樹村房，2021
- ・ 金沢 みどり，柳 勝文 著『児童サービス論』第3版，学文社，2022
- ・ 永田 治樹 著『公共図書館を育てる』青弓社，2021
- ・ 宮沢 厚雄 著『再販制度と独占禁止法』（図書館のための出版キイノート）樹村房，2021
- ・ 和田 敦彦 解説『戦時期早稲田大学学生読書調査報告書』不二出版，2021

会員の皆さまが図書館情報学関係の著作を刊行された際には、可能であれば事務局（相模女子大学金井研究室）まで1部お送りいただければ幸いです。書評対象文献の選定ならびに学会賞選考の際の参考とさせていただきます。

(事務局)